

**令和5年度 第2回北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会**  
**《議事要旨》**

- 1 開催日時 令和5年10月27日（金）13:30～15:15
- 2 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
- 3 出席者〔委員〕 藤原真史、小川昭二、矢野望、村田茂、  
鈴木良長、深澤文長、小野光一（敬称略）  
〔市役所〕 市長 上村英司  
副市長 小林 明  
教育長 輿水清司  
北杜未来部長 宮川勇人 企画部長 中田治仁  
総務部長 小泉雅人 市民環境部長 三井喜巳  
福祉保健部長 清水市三 こども政策部長 大芝 一  
産業観光部長 加藤郷志 建設部長 齊藤乙巳士  
教育部長代理 渡辺美津穂 上下水道局長 小尾正人  
財政課長 城戸潤子  
〔事務局〕 政策推進課長 進藤修一  
政策推進課 行政改革担当 日向重貴、有賀 翼、堀内 健  
政策推進課 政策調整担当 篠原振一郎
- 4 欠席委員 船木委員、白倉委員、片田委員
- 5 会議録署名 村田委員、鈴木委員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 1名及び報道関係者1名
- 8 議 事
  - 1) 開会
  - 2) 委員長あいさつ
  - 3) 市長あいさつ
  - 4) 議題報告
    - (1) 北杜市公共施設個別施設計画（素案）について
    - (2) その他
  - 5) 閉会
- 9 会議経過
  - 1) 開会 [13:30]
  - 2) 委員長あいさつ
  - 3) 市長あいさつ
  - 4) 議事

## 議事

### (1) 北杜市公共施設個別施設計画（素案）について

委員からの意見要旨は以下のとおり。

- 資料4のP5～P7の方針は、「最適配置」と「建築物の長寿命化」の大きく2つに分かれ、そのうち「最適配置」に関しての方針が4つあるが、これらはどのような関係にあるのか。例えば、方針1と方針2は、統廃合を進める場合にどのように組み合わせたりするのか。  
(回答) 基本的に最適配置を考える上で、検討を進めるための土台になる方針である。施設のバランスなど、全てを加味して最適配置を検討する。
- 計画を進めていく中で、個別施設の置かれた状況や劣化状況など幅広い中で最終判断をしていくというような方針の関係性という理解でよいか。  
(回答) ご認識のとおりである。
- 図書館について、「北杜市立図書館適正配置等検討会」の結果を踏まえて。図書館機能を有する8つのコミュニティコモンズの内、中核的な図書館を3箇所とする方針が決まった。市長と語る会では、こうした検討結果にも関わらず、8つの図書館を残すよう迫られていた。このような意見はどのように反映していくのか。  
(回答) 市民それぞれの利用状況に基づいた意見だと考えられる。現在でも、施設の中に複合化している図書館があるため、図書館の再編は施設総量縮減には大きく寄与しないと考える。それよりも利用者数減少を踏まえて図書館機能を高めていくための方針である。利便性は大きく損なわれないと考えるので、今後も理解いただけるよう説明していく。
- ハコモノとしては廃止されるが、機能は維持されサービスは高度化していくことをわかりやすく伝えていく必要がある。他自治体でも施設の廃止＝サービスや機能が無くなるという認識の方が多いため、誤解を解きながら進めていただきたい。
- 資料7の試算結果について、物価高騰やエネルギーの値上げなどを加味した結果なのか。  
(回答) 資料7のP3で、「平成31年度建築物のライフサイクルコスト（国土交通省監修）」という書籍に基づいた算定を行っているが、平成31年度には建築資材など価格の高騰をはじめとする近年の建設工事をとりまく状況の変化が反映されていないため、国土交通省が発表した「建設工事デフレーター」の上昇率を掛けて算定を行った。
- 特に市営住宅やスポーツ施設を優先的に進めていただき、財政危機にならないよう気を付けていただきたい。  
(回答) 分類ごとに削減する施設数を示して、目標に向かって関係者と協議して進めていく。
- 本計画はインフレの状況を反映しているが、計画期間が長いため、今後さらにインフレが進

行した場合の、将来更新等費用を始めとした数値は、適宜計画書を修正するのか。または、記載内容を読み替えられるような補足資料の追加で対応するのか。

(回答) 本計画で示している年間 22 億の上限額は、公共施設等総合管理計画の金額を引用している。今後の見通しは現時点では立てられないため、一旦年間 22 億円を上限として検討を進める。今後の物価上昇については、計画内容（個々の施設の方向性）の改訂までは考えていないが、単価が変われば上昇率を加味して適宜修正することを検討している。

- これだけの専門的な計画書に対して、適切なパブリックコメントをいただくことは非常に難しいと思われる。万人に向けてわかりやすくなるような対策は考えているか。

(回答) 本資料には記載していないが、専門的な用語も出てくることから、用語の解説は資料に追加する予定である。また、パブリックコメント期間を従来よりも長くする予定である。

- 保有総量の計算、最適配置の方向性についての評価の結論は、今後お示しくださるとのことだが、整理した結果はいつ公表される見込みなのか、パブリックコメント等含めてどのような予定になるのか教えていただきたい。

(回答) 概ねまとまっているが、配置バランスなど地図上への表現がまだ対応しきれていない。パブリックコメントまでには、追加資料として提出をして確認いただく予定である。

- 市民へのわかりやすい説明は非常に重要である。資料 1 では P 1 の 5 段落目は、6 行にも及ぶ 1 文となっている。非常に重要な部分だが、色々と伝えたいことを一つの文章にしているため、難解で分かりにくい。簡潔に伝わるように工夫していただきたい。また、「本計画」とあるが、多くの計画名が出てくるので、それぞれどの計画のことか分かりやすいように記載していただきたい。続いて、P 2 の本計画の位置付け、図 1 - 2 に「北杜市公共施設個別施設計画」が赤字で示されており、小学校、中学校、住宅の個別計画と同じ括りであるが、北杜市公共施設個別施設計画とそれ以外の 3 つの計画とでは、位置付けが異なり同列ではなく、北杜市公共施設個別施設計画が上になる感覚であるため、ご検討いただきたい。

(回答) わかりやすい表記となるよう検討させていただく。また図 1 - 2 の位置付けについても、わかりやすくなるよう工夫する。

- 今回の計画上の施設縮減量の試算結果が 40%縮減を達成しているという点は大いに評価したい。その上で、行政改革の根本は健全財政の維持が一番の目的である。今後の本市の財政を考えた場合、40%削減すれば健全財政が維持できるだろうと最低限の目標を立てた経緯があり、財政の議論からスタートした。ただ、財政面での数字を目標としてはわかりにくい部分もあるため、施設総量 40%縮減という表現で目標を示した。従って、本計画で示されている縮減面積は妥当な結果であり、必要最低限の削減率と捉えていただき、今後も努力が必要だと考える。毎年の進行管理でも常に健全財政の維持を念頭におきながら本計画を進めていただきたい。

(回答) 毎年適切に管理運営を行っていく。

- 資料4のP26に、「予防保全施設」、「事後保全施設」、「方向性検討施設」とあり、多くが「方向性検討施設」に区分されている。361施設がどのように振り分けられているのか、何割ずつなのか教えていただきたい。また、方向性検討施設はP26の中段に、「計画期間前半において具体的な検討に着手する」と書いてあるが、これは検討に着手することが前半なのか、それとも方向性の結論も含めて結果が出るのが前半で終了するのか、計画期間の前半とはいつからなのか、作業のペースについて教えていただきたい。

(回答) 保全分類ごとの施設数については、集計が完了していないため、別途補足資料として共有する。作業ペースのスケジュールについては、第5章に各施設のロードマップを掲載しているが、記載方法や内容などを再検討する。

- 長寿命化については具体的な計画が決まっているが、方向性検討施設の方向性は、全体を読むと何となく想像はできるが、結局どの方針に基づくかよくわからない。現時点でもう少々具体的に書けるものなのか、作業状況も含めて教えていただきたい。

(回答) 4つの方針の書きぶりはこのままとさせていただくが、施設数については残す施設と残さない施設を検討して、可能な範囲で具体的な方向性について加筆することを検討する。

- 資料8のP3について、毎年の進行管理はPDCAサイクルをまわすことになっているが、例えば進行管理について、行政改革に報告をして意見をいただくことはあるのか。外部の声を諮ることはあるのか教えていただきたい。

(回答) 資料1のP3に計画の策定体制を掲載しているとおり、行政改革推進委員会に適宜諮り、意見を反映し進捗管理を行っていくことを考えている。

- 行政改革委員会としても本計画の策定には非常に高い関心を持っている。今後も経過を注視し、適宜報告をお願いしたい。また、北杜市の各施設の職員は、日々サービス向上に資する努力に励んでいる。今後、施設の総合的な魅力や価値が高まった場合のロードマップへの反映について事務局で検討案はあるのか。

(回答) 今回の計画では1期は8年、2期と3期は10年ごとに改訂を予定していて、このくらいの期間で社会情勢が変わってくることを想定している。期間の期末ごとの施設の評価により適宜調整はしていくが、ただ大事なことは目標の40%削減であり、将来的なコスト削減である。バランスを見て検討を行っていく必要があると考えている。

- それぞれの地域や職員も日々頑張っているが、良い施設になってきたというだけでは説得力がない。本計画はかなり緻密で客観的なデータや考え方に基づいて成り立っているが、施設の状況に応じて施設の立ち位置を変えていくという考えがある場合、施設の状況を評価する内容も必要である。施設の削減も重要だが、地域や職員の方の努力により施設が活性化してくることも、重要で好ましいことである。このようなことも加味できれば職員のモチベーション向上にもつながると考えている。

(回答) 客観的な数の評価については機械的に出している。今後、施設が活性化する可能性についてはお示し出来なかった。今回の分類別の縮減などについては、必ずしもそのとおりになるわけではないので、施設の状況に応じて変更される可能性についても記載を検討する。本計画は28年間と長期にわたるため、施設の状況なども変わってくるので、市民の方々の声を聞きながら随時見直す。重要度が高まった施設については残し、その分はどこかで削減できないか各期間の期末に検討する必要がある。

- 素晴らしいとまとめた計画ではあるが、計画期間が28年間は長すぎるため、できればその半分の期間が望ましい。28年も経てば人口も相当減ると思われるため、見える形で粛々と進めて早期達成することが重要である。本来、PDCAサイクルはスパイラル形式にすることにより加速度が上がり、効果を発揮する仕組みである。ゆっくり進めてしまうと意味がないので、とにかく速度を速めていただき、速やかに40%以上施設総量が削減されることが望ましい。

(回答) 令和33年度までの28年間という目標設定は、公共施設等総合管理計画に合わせたものであるため最長期間と捉え、今回ロードマップ内の検討施設もあるため、その施設の検討をなるべく早期に進めていく考えであるので、ご理解をお願いしたい。

- 資料4のP39について、用途重要性の振り分けの考え方について教えていたい。

(回答) 考え方については、3点の区分は、「不特定多数が利用し、無くなると市民生活への影響が著しい機能」、2点の区分は、「不特定多数が利用し、無くなると市民生活への影響が中程度の機能」、1点の区分は、「利用者が特定の方々に集中している機能」で市民生活への影響が大きくないと判断した区分である。この区分はどこかで線を引き、分けなければならないものであるため、それぞれ基準と照らし合わせ判断をして振り分けたが、この区分や振り分けが妥当だとしてご判断いただき、確認したと解釈して差し支えないか。

(委員からの異議なし)

## (2) その他

資料9「北杜市公共施設等総合管理計画」の一部改訂案について、事務局から説明。委員からの質疑等はなし。

今後の予定として、本委員会でいただいた意見を踏まえ内容の最終確認を行い、修正案を12月定例議会にて報告、12月下旬からパブリックコメントを実施、その後意見を踏まえて必要箇所の修正を行い、次回令和6年2月開催予定の第3回検討委員会にて内容を確定し、3月に策定を行う旨を説明。

## 7) 閉会 [15:15]

以上